

# Nishiaizu



5 | 広報にしあいづ  
May. 2016 (平成28年) No.691

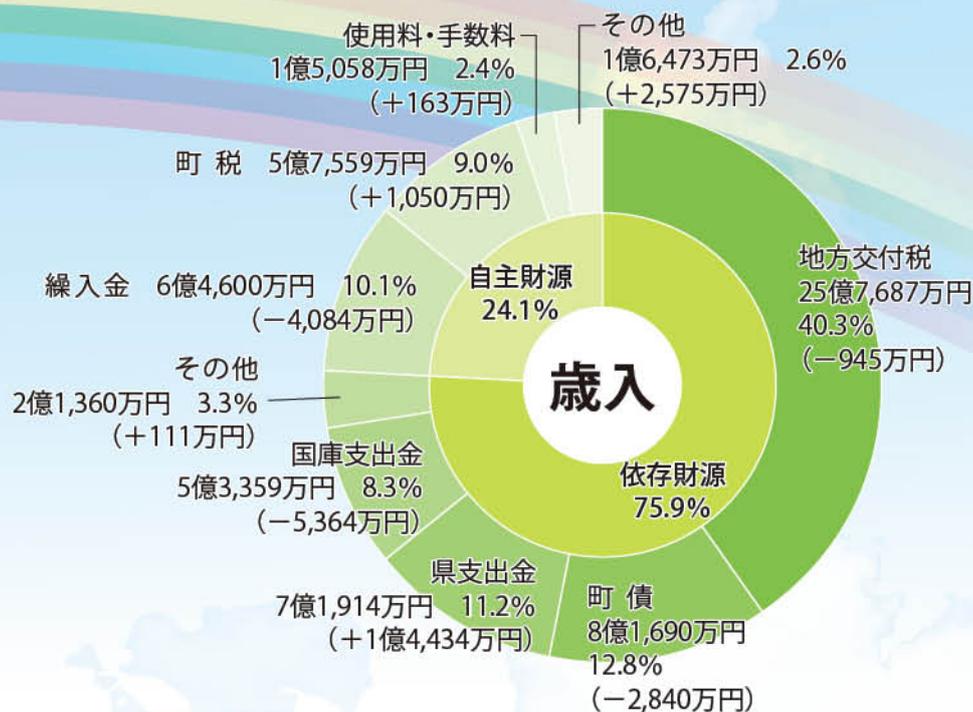
未来に向かって  
風に乗り  
泳ぐ、泳ぐ。

- P 2 未来を創る まちの予算
- P 6 前西会津町長 山口博績氏 逝去
- P 8 まちからのお知らせ&ニュース  
町職員の人事異動 ほか
- P 10 まちの話題  
入学式 ほか

[写真=縄沢地区に掲げられた鯉のぼり]

# 未来を創る

## まちの予算



**【用語解説】** 一般会計：町の基本となる会計。福祉や土木、教育など一般的な事業を行う。依存財源：国や県などから交付されるお金。自主財源：町が自ら収入できるお金。地方交付税：一定水準の行政サービスができるよう自治体の財政状況に応じて国から交付されるお金。町債：道路改良や施設整備などを行う際にその資金として長期的に借り入れるお金。また、財源不足を補うため地方交付税の代わりに借りるお金。繰入金：基金(積立金)や特別会計から入るお金。

平成28年度一般会計当初予算額は

**63億9,700万円**

町では、「みんなの声が響くまちにしたい」を基本理念に、「西会津町総合計画」や町の憲法である「まちづくり基本条例」が目指す協働のまちづくりの実現に向け、定住促進と交流人口の拡大を総合的かつ強力に推進し、「住んでみたい、行ってみたい町へ」をテーマとした各種事業を進めています。平成28年度の一般会計当初予算は、子育て支援の拠点施設となる「認定こども園」の新築工事や、「西会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地域の活力再生に重点を置いた特色ある事業を盛り込むなど、総額63億9,700万円という過去最大の大型予算を編成しました。

### 国の動き

「経済再生なくして財政健全化はない」これは、経済財政運営における安倍内閣が掲げた平成32年度の財政健全化目標の達成に向けた今後5年間の基本方針です。政府は、本年度を財政の健全化を目指す「経済・財政再生計

画」の初年度として位置づけ、財政再建を着実に進めるとしています。国の厳しい財政状況を踏まえた上で、聖域なき徹底した事業の見直しを行い、その一方で人口減少と地域経済縮小の悪循環連鎖に歯止めをかけるための地方創生事業や、安倍内閣が掲げる「一億総活躍社会」の実現、さらにはデフレ脱却・経済再生や東日本大震災からの復興などを加速させる方針を示しました。

景気回復に伴う法人税収や所得税収の伸びを見込み、税収を25年ぶりに高水準とするなど、政府が編成した平成28年度予算は、96兆7,218億円という過去最大の大型予算となりました。

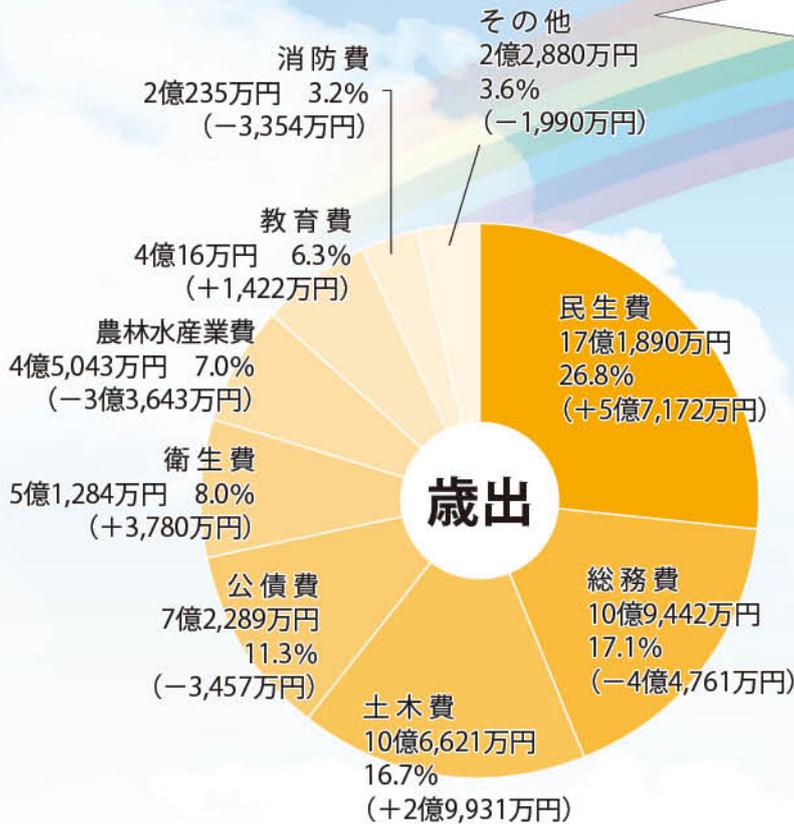
### 町の予算編成方針

平成28年度は、子育て支援の拠点施設となる「認定こども園」の新築工事に着手するほか、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地域の活力再生に重点を置いた事業を着実に実施するため、この総合戦略の基本目標に掲げた特色ある事業を優先して予算を編成しました。

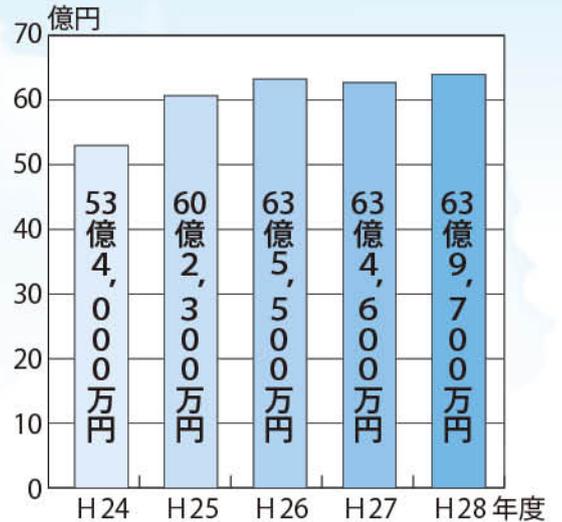
また、中長期的視点に立った計画的な財政運営と健全財政を維持するため、財源の重点的かつ効果的な配分の実現を目指すとともに、国・県の予算編成や税制改正などの動向を注視しながら

〈その他内訳〉

議会費	9,347万円	1.5% (+155万円)
商工費	9,126万円	1.4% (-62万円)
災害復旧費	2,530万円	0.4% (-4万円)
労働費	1,377万円	0.2% (-2,079万円)
予備費	500万円	0.1% (±0万円)



一般会計  
当初予算額の推移



※歳入、歳出とも%は総額に占める割合、( )は対前年度増減額

町民1人当たりの支出額 一般会計予算

※平成28年4月1日現在の住民基本台帳人口6,862人を基に算出

民生費		総務費		土木費		公債費		衛生費	
250,495円		159,490円		155,379円		105,346円		74,737円	
	高齢者・障がい者・児童などの福祉全般に要する経費		役場の維持管理や情報政策、交通対策、選挙などに要する経費		道路整備や除雪、町営住宅管理などに要する経費		借入金(町債)の返済に要する経費		予防接種や検診、ごみ処理、環境対策などに要する経費
農林水産業費		教育費		消防費		議会費		商工費	
65,641円		58,316円		29,488円		13,621円		13,299円	
	農林業の振興、基盤整備などに要する経費		小中学校、スクールバス、給食センター、公民館などに要する経費		喜多方広域消防や消防団、消防施設に要する経費		議会運営に要する経費		商工業の振興や観光事業に要する経費

平成28年度は、前述の大規模事業のほか、教育の振興と人材の育成では、子育て支援の一層の充実を図るため出産祝金を第1子から支給することとし、また、学校教育の充実・強化を図るためのICT環境の整備にも取り組んでいきます。地域経済の活性化では、交流人口拡大を目指し地域おこし協力隊

主な事業

町では、この重点目標に基づき各種事業を着実に実施してまいります。

「教育の振興と人材の育成」「地域経済の活性化」「健康づくりと安全・安心」の3点を引き続き平成28年度の重点目標としました。

重点目標

町では、町民の皆さんと将来展望を共有しながら定住促進と交流人口の拡大を強力に推進するため、「住んでみたい、行ってみたい町へ」をテーマとした事業を重点施策として位置付け、「教育の振興と人材の育成」「地域経済の活性化」「健康づくりと安全・安心」の3点を引き続き平成28年度の重点目標としました。

こころ豊かな人を育むまちづくり —教育の振興と人材の育成—

保育所運営事業（委託費）	1億6,541万円
認定こども園新築事業（建設工事等）	7億1,513万円
【拡】 出産祝金（第1子から支給）	810万円
放課後児童クラブ事業（ひだまり子どもクラブ）	496万円
子育て医療費サポート事業（18歳までの医療費無料化）	1,986万円
乳幼児家庭子育て応援金（2歳までの幼児を家庭で保育する保護者に月額1万円を支給）	540万円
こうのとりのサポート事業（不妊・不育治療に要する治療費を助成）	104万円
【新】 西会津小・中学校内線相互通信設備整備事業	145万円
西会津小・中学校ICT環境整備事業（無線LANタブレット端末機導入整備）	348万円
西会津高校活性化対策事業（通学費等補助、修学資金貸付など）	738万円
スポーツ大会参加補助金（ふくしま駅伝・市町村対抗野球・ソフトボール大会への参加支援）	331万円
【新】 横町館跡本調査発掘事業	3,000万円

豊かで魅力あるまちづくり —地域経済の活性化—

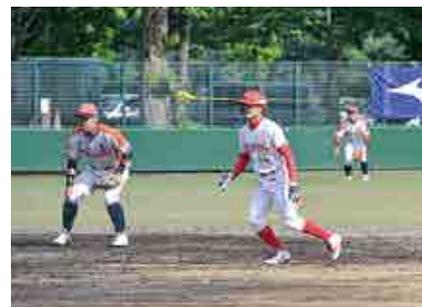
多面的機能支払交付金事業	4,741万円
中山間地域等直接支払事業	7,534万円
【新】 森林資源活用型新産業づくり計画策定事業	389万円
広葉樹林再生事業（広葉樹林を伐採・活用し、森林の再生を図る）	1,750万円
新規就農者ステップアップ支援事業（担い手・新規就農者経営支援）	525万円
園芸ハウス（6棟）・菌床栽培用ハウス（2棟）整備事業	2,718万円
健康な土づくり事業（土壌分析、小型農業機械購入補助）	598万円
活力ある地域づくり支援事業（地域づくり・地域おこし団体に対する支援）	350万円
【新】 さゆり公園周辺施設改修事業（福島ホープス西会津球場防球ネット設置工事、フレンズワールド管理棟修繕等）	4,791万円
定住・移住総合支援センター運営事業	670万円
【新】 合宿施設設置構想調査事業（セミナーハウス）	432万円
【新】 若者リーダー育成事業（若者まちづくりプロジェクト後継事業）	200万円
【新】 農商工学連携地域活性化事業（西会津高校の生徒による商品開発を支援）	250万円
【拡】 地域おこし協力隊配置事業（5名配置）	2,071万円
アンテナショップ運営事業（kura-cafe「クラカフェ」）	676万円
定住住宅整備費補助金（45歳以下の若者・町への移住者に対する住宅支援、住宅団地購入費支援）	720万円
結婚祝金（現金10万円又は定住促進住宅6ヶ月分の家賃を支給）	188万円
【拡】 後継者対策事業（婚活事業）	400万円



▲交通安全教室で交通ルールを学ぶ児童



▲昨年度実施した横町館跡試掘調査の様子



▲さゆり公園で行われた福島ホープス公式戦



▲さまざまな活動に取り組む地域おこし協力隊

町では一般会計のほか、10の特別会計等で事業を行っています。これらの予算総額は32億3,817万円となりました。

特別会計等では、住宅団地の分譲や上下水道の整備・運営のほか、後期高齢者医療、国民健康保険、介護保険などの運営を行い、町民の皆さんの快適な暮らしと健康を守ってまいります。（会計ごとの予算額は左表のとおり）

特別会計等

健康づくりと安全・安心では、「健康がいちばん！」をキャッチフレーズとした健康づくり事業、各種健（検）診事業、予防接種事業の推進に加え、防災体制の充実・強化を図るための新たなハザードマップの整備や西会津縦貫道路の整備、雪対策基本計画の策定など、災害や雪に強いまちづくりに取り組みます。平成28年度の主な事業は上表のとおりです。

# 平成28年度の主な事業

※【新】…新規事業 【拡】拡充事業

## 人と自然にやさしいまちづくり —健康づくりと安全・安心—

健康がいちばん推進事業（食と運動、健(検)診の連携による町民健康づくり、健康づくりの習慣化を目指すポイント事業の実施）	130万円
各種健(検)診事業（胃がん・子宮がん・乳がん・肺がん・大腸がん、基本健診、特定健診等）	1,914万円
高齢者予防接種事業（65歳以上高齢者のインフルエンザ・肺炎球菌ワクチン接種費用の助成支援）	1,268万円
小児予防接種事業（日本脳炎・麻疹・風疹・肺炎球菌・ヒブ・子宮頸がん・4種混合・ポリオ・水痘のワクチン接種費用の助成）	884万円
精神保健事業（精神ケア・にこにこ相談所の運営費）	300万円
生活支援ハウス運営事業（施設運営費）	1,051万円
高齢者の生きがい対策事業（老人クラブ・老人スポーツ支援）	392万円
ボランティア活動推進事業（サポートセンター運営費）	128万円
コミュニティ育成事業（自治区が管理する防犯灯・街路灯のLED化工事等への支援補助）	372万円
町民バス運行事業（デマンドバス・路線バス運行費）	8,338万円
町道野沢柴崎線道路整備事業（橋立3号橋上部工工事等）	3億360万円
町道小学校線道路整備事業（用地補償・改良舗装工事）	3,308万円
町道小山松峯線道路整備事業（用地補償・改良舗装工事）	3,500万円
町道舗装修繕事業（老朽化の著しい舗装の計画的修繕）	3,000万円
町道橋りょう修繕事業（老朽化の著しい橋の計画的修繕）	3,070万円
【新】道路整備計画調査事業	216万円
【新】雪対策基本計画策定事業	206万円
さゆり公園施設維持修繕事業（屋内プールろ過装置の交換、屋内プールボイラー設備の更新等）	4,502万円
野沢駅通り公園整備事業（整備工事）	5,550万円
原町ポケットパーク整備事業（整備工事）	3,400万円
太陽光発電施設整備事業（役場新庁舎）	8,400万円
斎場施設整備事業（喜多方地方広域市町村圏組合負担金）	6,597万円
防火水槽整備（杉山地区1基）	892万円
【新】ハザードマップ整備事業	250万円
【新】屋敷地区急傾斜地対策事業（県営事業負担金）	110万円
<b>計画の推進 —効率的・効果的な行政の推進と健全財政—</b>	
【新】地方公会計整備事業（地方公共団体における公会計の導入）	1,000万円
【新】役場新庁舎整備事業（学校給食棟解体工事等）	3,940万円
【新】遊休公共施設等整理調査事業	112万円



▲介護予防の健康体操「棒体操」を推進



▲利用者の利便性向上を目指すデマンドバス



▲工事中の町道野沢柴崎線・橋立3号橋



▲本年度中に雪対策基本計画を策定

## 特別会計等の当初予算

保険料や使用料など、特定の収入があり、収入の使い道が決まっている会計

特別会計名	予算額	前年度比
工業団地造成事業	8,868万円	0.0%
住宅団地造成事業	623万円	1.1%
下水道施設事業	1億7,565万円	△5.6%
農業集落排水処理事業	1億1,256万円	△2.8%
個別排水処理事業	5,498万円	△14.3%

特別会計名	予算額	前年度比	
後期高齢者医療	9,702万円	△4.4%	
国民健康 保 険	事業勘定	10億156万円	△2.3%
	診療施設勘定	2億8,178万円	△0.2%
介護保険	11億199万円	△2.6%	
簡易水道等事業	6,835万円	△13.4%	
水道事業 会 計	収益的収支	1億5,246万円	△3.4%
	資本的収支	9,691万円	8.7%

昭和60年から6期24年 町政伸展に尽力

# 前西会津町長 山口博續氏 逝去



町長として6期24年の長きにわたり、町の発展のため力を尽くした山口博續さんは、去る3月16日午後、80歳で逝去されました。

今日の町の礎を築いたそのご功績に感謝の意を表するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

告別式には  
約1500人が参列

西会津町・山口家合同告別式は4月14日に執り行い、町内外から約1500人の皆さんが参列し、町の発展に力を尽くした山口前町長との別れを惜しまれました。

式では、はじめに葬儀委員長の伊藤町長が「百歳への挑



▲告別式の様子

戦を掲げたトータルケアのまちづくりや、町の憲法ともいえるまちづくり基本条例の制定をはじめ、先見性と卓越した政治手腕、そして強い信念をもって町政執行にあたり、今日の西会津町の礎を築かれた」と追悼の式辞を述べ、その後、町内7人の僧侶による読経が行われました。

続いて渡部恒三元衆議院副議長、瓜生信一郎県議会議員、



▲焼香し別れを惜しむ参列者の皆さん

喜多方地方広域市町村圏組合副管理者の小椋敏一北塩原町長、武藤道廣町議会議員、山口岩男元副町長、友人代表の齋藤宏一さんが弔辞を捧げました。

式の最後には、山口前町長の長女恵子さんの夫で、県知事事務秘書の喪主小林大也さんが「父は頑固で、仕事に大変厳しい人でした。さまざまな施策を実現できたのは、関係者、そして町民の皆さんのご理解・ご協力のおかげです」と親族を代表し謝辞を述べました。

参列者の皆さんは読経の中焼香を行い、しめやかに最後のお別れをしました。



▲手を合わせ最後のお別れ



## 24年間の町の動き

昭和60年Ⅱ▼山口博績氏が町長に就任  
 昭和61年Ⅱ▼第1回西会津の文化と産業祭開催  
 昭和62年Ⅱ▼外国語教育と国際交流のため英語指導助手を招致  
 昭和63年Ⅱ▼老人保健施設「憩の森」、西会津診療所開所  
 平成元年Ⅱ▼克雪生活圏整備事業で整備した流雪溝が稼働▼さゆり公園総合オープン▼第1回桐ゲタマラソン大会開催  
 平成3年Ⅱ▼第1回雪国まつり開催▼さゆり公園野球場が整備完了、初のプロ野球公式戦開催(イースタンリーグ日本ハム対巨人)▼株式会社西会津町振興公社設立  
 平成4年Ⅱ▼特別養護老人ホーム「さゆりの園」開所▼成人病予防対策調査実施  
 平成5年Ⅱ▼世界一の長寿村・沖縄県大宜味村を視察▼屋内プール完成▼「健康の町」宣言、毎月第2土曜日を「町民健康の日」に▼「百歳への挑戦」町民大会開催▼温泉健康保養センター「ロータ

スイン」、フレンズワールドオープン  
 平成6年Ⅱ▼移動通信利用施設完成、携帯電話が使用可能に▼女性消防隊結成▼在宅介護支援センター開所▼沖縄県大宜味村児童生徒との交流事業開始▼「在宅健康管理システム」を全国の自治体で初めて導入  
 平成7年Ⅱ▼記録的な集中豪雨で各地に大きな被害(被害総額12億4000万円以上)▼第50回ふくしま国体・ゲートボール競技を開催  
 平成8年Ⅱ▼雇用促進住宅入居開始、西林東自治区ができる▼西会津消防署が開署  
 平成9年Ⅱ▼滝坂地すべり対策が国の直轄となる▼県内初のケーブルテレビ局が開局▼広域水道小島浄水場完成▼磐越自動車道が全線開通▼第2回ふるさといきいき村づくり全国サミット・西会津町大会開催  
 平成10年Ⅱ▼屋内ゲートボール場「すばやく西会津」完成▼健康な土づくり事業開始▼さゆりが丘ニュータウン分譲開始  
 平成11年Ⅱ▼県内初の複合型

スポーツクラブ「西会津スポーツクラブ」結成  
 平成12年Ⅱ▼さゆりオートパークオープン▼特定環境保全公共下水道「野沢浄化センター」完成  
 平成14年Ⅱ▼町民バス「Le's Goシャトル」運行開始▼西会津・群岡・新郷・奥川中学校が閉校、新たに統合・西会津中学校が開校  
 平成15年Ⅱ▼健康寿命延伸事業スタート▼ボランティア活動サポートセンター設立▼ケーブルテレビインテーターネットサービス開始  
 平成16年Ⅱ▼県内の国道49号で初となる道の駅「にしあいづ」オープン▼西会津町自立宣言▼西会津国際芸術村開村  
 平成17年Ⅱ▼沖縄県平良市(現宮古島市)と友好都市締結  
 平成18年Ⅱ▼テレワークセンター完成▼にしあいづ地域包括支援センター開所  
 平成20年Ⅱ▼西会津町まちづくり基本条例施行  
 平成21年Ⅱ▼町消防支援隊発足

## 山口氏の主な経歴

中央大学大学院修士課程法学研究科政治学専攻卒業後、福島民友新聞社に入社。その後衆議院議員渡部恒三氏の私設秘書を経て昭和54年から昭和58年まで県議会議員、昭和60年からは西会津町長を務める。町長在職中は「百歳への挑戦」を掲げた保健・医療・福祉の連携を強化したトータルケア体制の確立、ミネラル栽培の普及、ケーブルテレビの開局、まちづくり基本条例の制定など町の発展に尽力。その功績が認められ、平成22年に旭日小綬章を受章、平成28年には叙位が発令され、喪主の小林大也さんが従五位の伝達を受ける。



▲従五位の伝達を受ける小林さん(中央)と山口芳さん(左・博績さんの妻)



平成28年4月1日付

## 町職員の人事異動

◎定期人事異動Ⅱ▼学校教育課長兼給食センター所長会田秋広(学校教育課長)▼建設水道課長補佐兼管理係長「維持担当」佐藤広悦(建設水道課長補佐兼上下水道係長)▼学校教育課長補佐鎌倉康裕(学校教育課長補佐兼学校教育係長兼給食センター所長)▼学校教育課給食センター次長「課長補佐職」佐藤栄作(建設水道課長補佐兼管理係長「維持担当」)▼建設水道課長補佐兼建設係長石川和典(建設水道課建設係長)▼学校教育課学校教育係長五十嵐悦子(学校教育課給食センター次長)▼建設水道課管理係長「事務担当」長谷沼充伸(町民税務課主査)▼建設水道課上下水道係長黒澤将幸(建設水道課主査)▼出納室主任主査青津直子(総務課主任主査)▼生涯学習課主任主査増子恵子(健康福祉課主査)▼総務課主査齋藤正利(生涯学習課主査)▼総務課主査飯嶋竜太(商工観光課主査)▼企

画情報課主査武藤洋一(健康福祉課主査)▼町民税務課主査三留昭生(建設水道課主査)▼商工観光課主査薄清久(議事事務局主査)▼農林振興課主査山口則夫(企画情報課主査)▼農林振興課主査渡部和徳(総務課主査)▼建設水道課主査伊藤雄一(学校教育課主査)▼学校教育課主査小柴芳成(建設水道課管理係長「事務担当」)▼議事事務局主査物永毅(農林振興課主査)▼建設水道課副主査齋藤孝洋(総務課副主査)▼生涯学習課副主査渡部美由紀(学校教育課副主査)▼総務課主事藤原正人(農林振興課主事)▼健康福祉課主事五十嵐美優(町民税務課主事)▼商工観光課主事長谷川麻也(出納室兼総務課主事)

◎新採用Ⅱ▼総務課主事品川貴斗▼町民税務課主事菅野莉沙▼健康福祉課主事青津京介▼健康福祉課保健師内山豊夏美▼農林振興課主事植木大翔

この機会にご相談ください

## 春の行政相談・人権相談を開催



5月は「福島さわやか行政相談キャンペーン」期間です。町では、特設行政相談所を開設し、役所や特殊法人などに関する苦情の相談に応じ、解決のお手伝いをします。また、併せていじめや家庭の問題、近隣トラブルなどの相談に応じる特設人権相談所も開設しますので、この機会にご相談ください。

- ◆行政相談委員 田崎 宗作 さん(小杉山)
- ◆人権擁護委員 長谷川孝志 さん(森野)
- 田崎 映子 さん(芝草)
- 嶋田 純子 さん(下野尻)

### ◆日時・会場

- 5月18日(水)
  - 午前9時30分～正午 新郷連絡所
  - 午後1時～3時30分 奥川みらい交流館
- 5月19日(木)
  - 午前9時30分～正午 保健センター
  - 午後1時～3時30分 町公民館
- 6月1日(水)
  - 午前10時～午後3時 町公民館
  - ※6月1日は人権相談のみ

統計調査にご協力を

## 経済センサス ― 活動調査を実施

経済センサスは、全国すべての事業所、企業を対象に行われる統計調査で、「経済の国勢調査」といわれています。産業構造や事業活動の実態を調査し、その結果を経済・雇用・中小企業政策、災害復興施策の立案などに役立てます。

5月から、県知事が任命した調査員が事業所や企業を訪問し、調査票の配布や記入の依頼、回収を行いますので、ご協力をお願いします。

◆基準日 平成28年6月1日

### ◆調査内容

- ◎工場や喫茶店、個人事業所などを含むすべての事業所・企業が対象です。
- ◎名称、所在地、経営組織などの基本的な項目に加え、事業内容、売上・費用、設備投資など、企業の経済活動について調査します。

よろしく願います

新採用職員紹介

※( )内は出身地



総務課 主事  
品川 貴斗  
(上野尻)

感謝の心を忘れず、町民の皆さんの役に立てるよう日々精進していきます。



町民税務課 主事  
菅野 莉沙  
(岩手県奥州市)

いつも笑顔で明るく対応することを心掛け、早く仕事を覚えて皆さんの役に立てるよう励んでいきます。



健康福祉課 主事  
青津 京介  
(縄沢)

日々勉強だと思っております。自分が今何をすべきかをよく考えながら仕事を進めていきます。



健康福祉課 保健師  
内山 豊夏美  
(会津若松市)

町民の皆さんの健康を支えられるよう頑張りたいと思います。



農林振興課 主事  
植木 大翔  
(9町内2)

これからの仕事に全力で取り組み、町の発展に貢献していきたいと思えます。頑張ります。

4月から新たに着任  
地域おこし協力隊



歴史文化担当  
江田 睦美  
(栃木県佐野市)

西会津の魅力がたくさんの人に知ってもらい、そして足を運んでもらえるよう頑張ります。

戸籍の窓口 [3月受付分]

まちの人口 (4月1日現在)

人口	6,862人	(前月比)	(-41人)
男	3,306人		(-11人)
女	3,556人		(-30人)
世帯	2,730世帯		(-8世帯)

ご結婚おめでとう

佐藤 秀治 杉山  
長嶺 由美子 会津美里町



お悔やみ申し上げます

海老名 寅夫 (94)	敏 枝 夫	3町内
山本 峯子 (84)	裕 孝 母	4町内
橋谷田 林吾 (89)	健 一 父	8町内
成田 ミツノ (93)	邦 夫 母	10町内
相原 タケノ (94)	稔 母	芝草

長谷川 アイ (92)	正 美 母	中 野
山口 博 續 (80)	小林大也 父	森 野
岩藤 タカノ (69)	健 寿 母	松 尾
鈴木 タツ子 (85)	静 母	松 尾
長谷川 ハルイ (91)	秀 力 母	縄 沢
佐藤 キヨ子 (91)	宗 悦 母	出ヶ原
齋藤 榮 (95)	健 母	上野尻
安部 チヨ (97)	一 朗 母	上野尻
土田 敏一郎 (86)	修 一 父	上野尻
佐藤 イチノ (91)	昭 母	白 坂
五十嵐 巖 (89)	宏 之 父	宝 川
齋藤 弘 (81)	八代枝 夫	檜木平
伊藤 ミチ子 (95)	廣 文 母	平 明
小林 スイ (100)	利 夫 母	井 谷
石黒 敬三 (65)	高木榮子 兄	新 道
井上 直吉 (83)	義 明 父	道 目



有料広告欄 [詳細は広告主に問い合わせください]

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1 枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1 枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・情報政策係 ☎45-4536



西会津小入学式



西会津中入学式



西会津高入学式



## 西会津小に40人、西会津中に37人、西会津高に41人が入学

西会津小と西会津中の入学式は、4月6日に行われました。西会津小には40人の新1年生が入学し、式で名前を呼ばれると元気よく「はい」と返事をして起立しました。岩澤一徳校長が「お兄さん、お姉さんたちと仲良く生活してください」と式辞を述べた後、伊藤町長をはじめ来賓の皆さんが入学を祝福しました。新1年生を代表し、青津龍りゅうさんが教科書を受け取りました。最後は、6年生の五寧朱雀すざくさんが「分からないことがあったら何でも聞いてください。一緒に学校生活を楽しみましょう」と新入生を歓迎しました。

西会津中には37人が入学し、式辞で五十嵐正彦校長

が「自ら進んで学習や部活動に取り組み、3年後に思い通りの未来に進めるよう頑張りましょう」と新入生を鼓舞しました。教科書は塚原蒼あおいさんが受け取り、新入生代表誓いの言葉では、三留綾華あやかさんが「西中生としての自覚を持ち、夢に向かって進んでいきます」と決意を新たにしました。

西会津高校入学式は4月8日に行われ、41人が入学しました。中野隆幸校長が「自己研さんに励み、実り多い3年間にしてください」と式辞を述べ、新入生代表の伊藤瑠威るいさんが「西会津高校の伝統を守りながら、日々精進していきます」と誓いました。



## 消防団長に伊藤正市さん

4月1日に町消防団長の辞令交付式が行われ、新たに伊藤正市さん(呼賀)が団長となりました。式で伊藤町長は「団員を統率して訓練に励み、町民の皆さんの安心・安全を守るため日々努めてください」と辞令書を手渡しました。伊藤団長は「身が引き締まる思いです。前団長の意志を引き継ぎ、今まで以上に予防消防に努め、地域に信頼される消防団を目指していきます」とあいさつしました。また、町では3月29日に最新鋭の消防ポンプ自動車を消防団に引き渡しました。この車両は第1分団第2部に配備されています。



## みんなで、にしあいつ物語を創ろう

3月26日、町の歴史や文化を広く知ってもらうことを目的に町歴史文化基本構想等策定事業・シンポジウム「みんなで、にしあいつ物語を創ろう!」を開催しました。当日は、県立博物館館長で町歴史文化基本構想等策定委員会委員長の赤坂憲雄さんと同副委員長の田崎敬修さんをコーディネーターに、長谷沼清吉さんをはじめ町内で地域おこし活動に取り組む7人がパネリストとして活動内容を発表しました。赤坂さんは「皆さんの活動を取り込みながら、にしあいつ物語を創りたい」と今後の抱負を語りました。



## アフターDCが開幕

地元観光関係者と自治体が、JRグループをはじめ全国の旅行会社などと連携して行う国内最大級の観光キャンペーン「ふくしまデスティネーションキャンペーン(ふくしまDC)」のアフターイベント「アフターDC」が4月1日から開幕しました。



4月2日に、にしあいつ観光クルーがSLに乗り込み町の魅力を乗客にPRしたほか、野沢駅に停車した際には、にしあいつ観光交流協会など関係者の皆さんが駅のホームで出迎え、町の特産品を振る舞いました。



## 櫻田美佐子／こと葉 二人展

4月16日から西会津国際芸術村で「櫻田美佐子／こと葉 二人展」を開催しています。この作品展では、国際芸術村の前身である旧新郷中学校出身の櫻田さんが撮影した風景写真と、その友人のこと葉さんが描いた水彩画を木造旧校舎の風情ある教室に展示しています。5月22日まで開催していますので、この機会に訪れてみてはいかがでしょうか。

また、期間中の毎週末と祝日には、ほこいたかし 銚井喬さんの短編映画「福島桜紀行」も上映されています。[写真=櫻田美佐子さん(左)、こと葉さん(右)]

健康づくりは 朝が いちばん

# 楽しみながら健康づくりを習慣化

町では、昨年度から年間を通して健康づくりに取り組んでもらうきっかけづくりとして、健康ポイント制度を導入しています。

この健康ポイント制度は、体重測定や運動、朝食時に野菜を取るなどの毎日の健康行動や、健(検)診の受診、健康教室などへの参加でポイントを貯めることができ、貯めたポイントは健康グッズや町共通商品券と交換できます。

また、町が行う健康ポイント制度に参加することで、県が行う「ふくしま健民バスポート事業」にも参加でき、県から提供される特典も受けることができます。

## 参加するには？

**ステップ1** 二こゆりちゃん健康ポイント手帳を使用し、日々の健康づくりを記録しましょう。「こゆりちゃん健康ポイント手帳」は町役場健康福祉課・健康支援係などで配布しています。

**ステップ2** 二3カ月間のポイントを集計しましょう。

**ステップ3** 二町役場健康福祉課・健康支援係にこゆりちゃん健康ポイント手帳を提出し、

ポイントに応じた景品などと交換しましょう。

## 健康づくりメニューと健康ポイント

こゆりちゃん健康ポイント手帳には、朝の健康づくりに重点を置いた6つの健康づくりメニューがあります。毎日の生活の起点となる「朝」に健康づくりを行い、その習慣化を目指しましょう。

このポイント制度は、手帳



にある健康づくりメニューを1つ行うごとに1ポイントが貯まり、1日の健康づくりメニューを全て行うと最大で6ポイントが貯まります。

このほか、健(検)診を受診したり、健康教室に参加したりすることで、さらにポイントが貯まっています。

## ポイントの特典

この健康ポイントは、300ポイント以上貯めると健康グッズに、500ポイント以上貯めると町共通商品券と交換することができます。

また、初めてのポイント交換の際には、100ポイントで県が行う健康ポイント制度の特典である「ふくしま健民カード」と交換できます。こ

▼こゆりちゃん健康ポイント手帳



のカードは、県内の協力店で提示することにより、料金の割引や景品がもらえるなど、さまざまなサービスを受けることができます。

▼ふくしま健民カード



## 健康づくりの輪を広げよう

健康ポイント制度は、健康づくりを行うたびにポイント

が貯まるため楽しく継続できます。また、貯まったポイントは実用的な健康グッズのほか町共通商品券と交換でき、地元商店街の活性化にもつながります。

さらに、家族や友人と一緒に言えば、健康づくりが共通の話題となり、健康意識の高揚も期待できます。

ポイントを貯めながら楽しく朝の健康づくりに取り組み、その習慣化を目指しましょう。

問い合わせ先

健康福祉課・健康支援係

☎ 45-4532



調理時間  
7~8分

体が目覚める 朝ごはんの要(かなめ)

# 春キャベツとマカロニの お手軽スピードスープ



朝ごはんを  
しっかり食べて  
1日を元気に  
過ごそう!



## 材料 (2人分)

キャベツ	100g
ニンジン	40g
マカロニ(短時間タイプ)	20g
ソーセージ	3本
コンソメ(固形)	1/2個
水	300cc
黒コショウ	少々

## 作り方

- ①キャベツはざく切りに、ニンジンは半月切りにし、ソーセージは斜めに半分に切る。
- ②鍋に水を入れ、ソーセージ、ニンジン、マカロニを煮る。
- ③ソーセージが反り返ってきたらキャベツとコンソメを加え、さらに煮る。
- ④キャベツがしんなりしてきたら器に盛り付け、黒コショウを振り、味を調える。

## 早寝早起き朝ごはん

朝食を取ると、眠っていた脳や体が目を覚まします。しかし、朝食を抜くと脳を働かせるためのエネルギーが不足し、勉強に集中できなかつたり、体がだるいと感じたりする場合があります。

夕食を食べる時間が遅い、夜遅く寝て朝もギリギリまで寝ているなどといったことが習慣化していると、朝の食欲はわきにくいものです。早寝・早起きし、朝ごはんをおいしく、しっかり食べて元気に一日を始めましょう。

## 朝食の2大効果

### その1 集中力アップ

朝食を取り、エネルギー源を脳に送ることで午前中の集中力がアップします。成績や能率アップが期待できます。

### その2 美容力アップ

朝ごはんを食べない1日2食の生活が続くと、エネルギーを貯めやすく、太りやすい体質になってしまいます。1日3食は太りにくい体づくりの基本です。また、きちん

とした食生活を送るとお通じが良くなり、肌の調子もよくなります。

## バランスが大切

ご飯やパンなどの主食、卵や納豆、肉、魚などの主菜、野菜などの副菜をバランスよく取るようにしましょう。果物や牛乳、ヨーグルトなどをプラスすればさらにバランスのよい朝食となります。

## おすすめ!

### ワンプレート朝ごはん

①皿集中食べやすい  
食欲がわかない朝でも、食事が一皿にまとまっていると食べやすく感じます。

②自然と品数が豊富に  
大きなお皿におかずが1品では寂しいため、ワンプレート朝ごはんは自然と品数が多くなります。主食・主菜・副菜でバランスよく盛り付けましょう。

③洗いの物も少なくなる  
食べ終わった後も、食器は皿1枚なので洗いの手間が省けます。

仲間と一緒に楽しく運動

# スポーツクラブに参加しよう



教室名	開催日程・会場
スイミング (金曜・月2回)	時間：午後6時30分から1時間程度 会場：さゆり公園屋内プール
水中ウォーキング (木曜・月2回)	時間：午後6時30分から1時間程度 会場：さゆり公園屋内プール
エアロビクス (日曜・月2回)	時間：午後7時から1時間程度 会場：町公民館
レクリエーションダンス (金曜・月2回)	時間：午後1時30分から1時間30分程度 会場：町公民館
筋力ストレッチ (月曜・月2回)	時間：午後7時から1時間程度 会場：町公民館
スポーツ吹矢 (水曜・月2回)	時間：午後1時30分から1時間30分程度 会場：町公民館
グラウンドゴルフ (火曜・月3～4回)	時間：午後1時30分から1時間程度 会場：さゆり公園多目的広場ほか
ラージボール卓球教室 (月曜・月2回)	時間：午後7時から1時間30分程度 会場：さゆり公園体育館



◀ エアロビクス

「西会津スポーツクラブ」は平成11年に設立され、今年で18年目を迎える県内で最も歴史ある総合型地域スポーツクラブです。  
会員は、小学生から高齢者まで幅広く、スポーツを通じて地域の皆さんと交流する場になっています。



◀ スポーツ吹矢

今年度は、8つの教室で会員を募集しています。年代に応じた年会費を支払うことで、8つ全部の教室に参加することが出来ます。申し込みの際にどの教室に参加するかを選んでもらいますが、途中で参加する教室を増やすことも可能です。いろいろな教室に参加して交流を深めましょう。  
女性に人気なのは、中川恵美子先生が講師を務める「エアロビクス教室」です。講師の掛け声や音楽に合わせて身体を動かします。参加者の年齢や体力に応じて内容を決めています。

年会費(保険料を含む)  
小学生 4,500円  
16歳～64歳 6,500円  
65歳以上 5,500円  
※障がい者手帳をお持ちの場合は保険料のみ。保険料は800円～1,850円です。  
※スイミングと水中ウォーキングは別途プール使用料が必要です。  
入会申し込み・問い合わせ先  
町公民館 ☎45-3244

ているので、無理なく楽しみながら運動できると好評です。「スイミング教室」は、参加者が全員小学生ということもあり、水に慣れることや基本泳法の取得を目標に活動しています。この教室は全部の教室の中で最も多い31名が昨年度登録しており、町外から参加する会員もいました。  
町では、健康づくりのため「町民1人1スポーツ」を言葉に、皆さんの日常的なスポーツ活動を支援しています。西会津スポーツクラブで、仲間と一緒に楽しみながら運動しませんか。

町民

バトンタッチ

みとめ ますみ  
三留 祐美さん [縄沢]

ほし ひさのり  
星 寿紀さん (4月号) からメッセージ  
今年も素敵なダンスを披露してください。

趣味は？

ダンス、スポーツ観戦、華道

熱中していることは？

子どもの野球観戦

最近感動したことは？

西会津中図書館の司書さんが絵本「かいじゅうたちのいるところ」に登場する船を作り上げたこと。図書館に飾ってあります。

あなたのモットーは？

笑う門には福来る

やってみたいことは？

家族とゆっくり温泉旅行、海外にホームステイ

次の方を紹介してください

K・Sさん (堀越)



聞いて！  
わたしの夢

ソフトボール部 部長  
佐藤 優衣さん

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分が思い描く夢や目標を話してもらっています。今月は3年・佐藤優衣さんです。

わたしの夢——

「私の将来の夢は、看護師です。けがをして病院に行ったとき、看護師の人が患者さんを励ましていました。患者さんに接しているとき以外はとても忙しそうなのに、優しく対応している姿を見てかっこいいと思いました。私もそういった看護師になりたいです」

努力していること——

「夢を叶えるためにも、勉強を頑張ることにしています」

未来の自分に一言——

「看護師になれましたか。つらいこともあると思いますが、頑張ってください」

宝物は？ 『子どもがホームステイ先からくれた手紙と、英語教室の10周年を迎えたときに教室の子どもたちとその保護者の皆さんからいただいた色紙』



町民  
ギャラリー

今月は、絵画クラブ

伊藤てる子 さんの作品です。

作品名 『静物』  
作品介绍 『秋になると、リンドウとザクロの色に魅せられ、一度は描きたくなりま  
す。シュウメイギクを加え、秋の一枚に  
まとめてみました』



資源を生かして地域おこし

## 小屋自治区で

# 「かたくり鑑賞会」



4月16日、奥川小屋自治区の主催で「かたくり鑑賞会」が開催されました。雪解けとともに茎を伸ばし、桜よりも少し早く春の訪れを告げるカタクリは、今年も一面をまるで薄紫色のじゅうたんのよう染めていました。会場に訪れた皆さんは、かれんに咲き誇るその姿を穏やかに眺め、また、写真に収めていました。集落支援員の岩橋義平さん（中央の写真2列目右）が小屋集落の皆さんに声をかけたことをきっかけに平成25年から始まったこの取り組みは、今年で4回目を迎えます。自治区の皆さんは、集落の高齢化は進んでいるが、美しい群生地を守りながら、多くの人にカタクリを楽しんでもらえるようこれからも続けていきたいと話していました。



群生地に続く手作りの木道



小屋自治区の皆さん



カタクリの前で記念撮影

## 編集後記

めっきり暖かくなってきました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

さて、今回はこゆりちゃんトピックスで取り上げた「かたくり鑑賞会」でのエピソードを紹介します。

「かたくり鑑賞会」のチラシには、「先着50名ナメコ汁サービス」と書かれています。しかし当日の開園時間をうっかり間違え、9時開園のところを10時過ぎごろ到着した私は、もうナメコ汁は無いよなあなどと考えていました。

ところが、会場ではまだナメコ汁を振る舞っているではありませんか。すでにゴミ袋の中にたくさん空容器が入っているにもかかわらずです。

聞くと、「せっかく訪れてくれたのだから全員をもてなしたい」という思いで、何人来て大丈夫なようかなり多めに準備していたそうです。

こういった温かい心遣いも、このイベントの魅力です。来年はぜひ皆さんも訪れてみてはいかがでしょうか。

広報担当 長谷川祐一